

οἰκουμένη

オイコメネー

知っておきたいキリスト教のことば (25)

エキュメニカル えきゅめにかる

エキュメニカルとはもともと、全般的、普遍的、世界的という意味がある一般的な語で、ギリシア語「オイコメネー」は「人の住む世界」、「全世界」という意味を持ちます。その言葉が、教会一致(エキュメニズム)を示す形容詞として、キリスト教用語となっていきました。

キリスト教は歴史の中で、ローマ・カトリック教会、正教会、英国国教会(聖公会)、プロテスタント諸教会へと分裂しました。

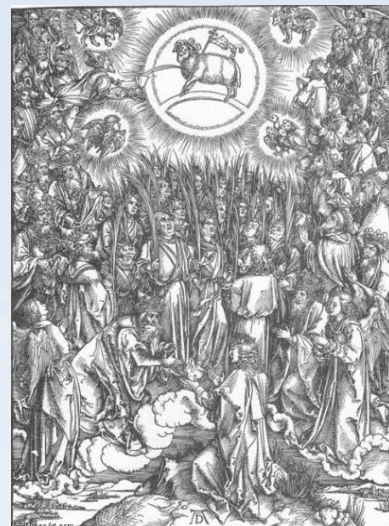
しかし 20 世紀に入って、教会一致の試みが活発化します。その大きな流れとして挙げられるのが、1910 年にエディンバラ(スコットランド)でおこなわれた「第一回世界宣教会議」です。この会議にはプロテスタント諸教会が集まり、超教派を目指しました。

そして二度の世界大戦を経て、1948 年「世界教会協議会(WCC)」がオランダのアムステルダムで結成されます。その時には 150 ものプロテスタント諸教会が代表を送りました。現在スイスのジュネーブに本部事務局を置く WCC には、正教会、聖公会を含む 110 ヶ国 349 の教会・教派が参加しています。

ローマ・カトリック教会は 1962~65 年の第二ヴァチカン公会議において、エキュメニズムに関する教令を發布します。その教令は「すべてのキリスト者間の一致再建を促進することは、聖なる第二ヴァチカン公会議のおもな目的の一つである」という書き出しで始まっています。そしてこの第二回公会議以降、WCC にもオブザーバーとして参加しています。

聖公会は「ブリッジ・チャーチ(橋渡しの教会)」とも呼ばれます。それは、ローマ・カトリックにもプロテスタントにも近い部分があるからです。たくさんの教派だけではなく、いろいろな宗教とも対話をしながら、歩んでいきたいものです。

次回は「エマオ」です。楽しみに。



「小羊の礼拝—選ばれし者の讚美」

アルブレヒト・デューラー(1471~1528 年)

わたしには、この囲いに入っていないほかの羊もいる。その羊をも導かなければならない。その羊もわたしの声を聞き分ける。こうして、羊は一人の羊飼いに導かれ、一つの群れになる。

(ヨハネによる福音書 10 章 16 節)

